

アイロンパーマ編

一般的なカールアイロンで施術する場合のプロセスです。



P3～4を参照

ビーワンバランスと1剤を5：5(基準)で混合したものを塗布してコーミング

例 $\text{ビーワンバランス } 20\text{cc} + \text{1剤 } 20\text{cc} + \text{ビーワンオール } (\sim 4\text{cc}) = 40\text{cc}$

毛先のダメージ部分にはビーワンサポートやビーワンバランスと混合したPPTなどを塗布。

P1

ヘアーリフォーマーとラップまたはヘアーキャップにて放置
放置時間などについては薬剤の使用法に準じて下さい。

髪質やダメージに合わせてアイロンの温度を調節
エアークームを使用することでエアアイロンと同様な効果が得られます。

P2

ビーワンユニティーと2剤を9：1(基準)で混合したものに、ビーワンオールを全量の10%を上限に添加したものを塗布

例 $\text{ビーワンユニティー } 36\text{cc} + \text{2剤 } 4\text{cc} + \text{ビーワンオール } (\sim 4\text{cc}) = 40\text{cc}$

2回塗布することをお勧めします。

P3

ヘアーリフォーマーとラップにて放置
放置時間などについては薬剤の使用法に準じて下さい。

リンスやトリートメントを使用する場合はビーワンバランスまたはビーワンサポートに混ぜて使用。

ビーワングレースを50プッシュ以上塗布してブロー

- POINT 1 ... ※ビーワンバランスと1剤の比率は5：5でなくても結構です。髪質や損傷の程度に合わせて比率を変更して下さい。
- POINT 2 ... ※保護剤は必要に応じて使用して下さい。
- POINT 3 ... ※ビーワンユニティーと2剤の比率は9：1でなくても結構です。
ウェーブダウンが気になる場合は2剤の比率を多くするか、2回塗布することをお勧めします。
※過酸化水素系の2剤の場合は固形物が生じることがありますのでご注意下さい。



■ アイアニング ■



■ ヘアーリフォーマー ■